

様式4

令和4年度 第2回学校運営協議会評価報告書

鳥取県立白兔養護学校
 学校長 中西 美千代

評 価 日	令和5年2月20日(月)	
評 価・提 言	学校の所見・改善策	
<p>1 重点目標の達成状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価については低く評価されている。安心安全な学校運営に努めておられると思う。 ・個別の教育の満足度が高い。学校とデイサービスの取り組みの連携に感謝している。 ・新型コロナの対応方針を保護者や地域に事前発信して共通理解できると良い。学校側の見通しと保護者の見通しが共通理解できたら子どもの生活にもよりプラスになると思う。 <p>2 目標達成のための取組結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での活動、人数や形態を配慮されながら授業や行事を実施されている。 ・地域活動も状況を見ながら、できる活動を実施しておられ、今後さらに活動の幅を広げていただけたらと思う。 ・地域と学校の取り組みを行う場合、日程のすりあわせが難しい。できることを協力していく中で、ぜひ新しい取り組みをしてほしい。 <p>3 具体目標の達成状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動については年間計画で実施したプロジェクト、交流、公民館での活動等、地域社会とのつながりというテーマにおいて項目ごとには良い実施になったと思う。参加人数が気になるところだが、自分の成長と同時にリーダー的意識も育てていき、一人でも多くの子どもたちが地域に出て行ける取り組みにつなげてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般的にB評価が多いが、概ね目標は達成できた。 ・保護者アンケートの結果については今後の対応を含めて保護者にも伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により活動の制約はあったが、実施方法を工夫して可能な限り各種活動の実施に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けてはさらに実施方法を工夫していく。 	

4 目標達成のために取り組んだ具体方策について
<ICT活用について>

- ・ICTの活用に向けてはオリヒメを使うのはどうか。県の助成があるのかよく訪ねられることがある。スマホを巡っては東京の人とのつながりのトラブルがあり、リスクに対する対応が必要。
- ・リモートや分散による学習をもっと活用して学校側の思いを伝えつつ、保護者の理解協力を得て、1年間を充実したものにしていけるとよい。うまく情報共有できるもの、できる場面が増えたら良いと思う。

<外部連携について>

- ・専門的な方、地域の方など外部とのつながりが持てるのも経験の一つ。校外に出て行けない子どもたちのために人材に來校してもらうなど、よりよい強力と理解を社会に知ってもらえるようにしてほしい。

5 その他

<新型コロナの対応と家庭支援について>

- ・新型コロナの3年間で失われているモノは大きい。精神的なダメージのある家庭もあり、しつけが学校に求められる時代。SSWの充実を図られるとよい。家庭がヘルプを言える働きかけがあるとよい。
- ・新型コロナについては5類への移行の流れだが感染リスクはある。こもっていることで精神的な変調を来している例もあり、思い切って交流をしていくことには実施方法に工夫が必要。
- ・自立をめざすのは大切だが、誰かの助けがないといけない子どもや保護者もあり、より社会とつながるチャンスを作してほしい。
- ・小中高とあるが学部をこえて相談し合える、協力し合える職員体制にしていき、一人一人実態の異なる子どもたちから学べることは学んでほしい。ただ先生方も体には十分に気をつけてほしい。
- ・将来を考えると、親亡き後のキーパーソンをつく

- ・ICT活用については卒業後も子どもたちが活用できるよう、高1・2年を中心に、小中学部においても来年度活用の取り組みを進める。
- ・依存にならないよううまく活用していきたい。

- ・意見を参考にして、引き続き外部講師の招聘を行う。

- ・今年の子どもはコロナで始まってコロナで終わっている。楽しい思いをできたか、よりよい体験をできる工夫をしたい。よりSSWを家庭につないでいく。

- ・新型コロナ対応については5類への移行を視野に入れながら、リスクに十分に考慮しつつ、安全安心な対応を進めていく。

- ・家庭支援や職員体制などご意見を来年度の取り組みの参考にしていく。

ることも大切。

<業務カイゼンについて>

- ・時間外勤務については実際には資料の数値より多いと思われる。働き方改革については地道に話す機会を持って一つ一つカイゼンを進めることが良いと思う。
- ・時間外勤務の削減に向けては、残業をしない日を設定し管理職が確実に退勤をさせていくことも一つの方法。
- ・記録や計画などの文書作成は一人でというよりも役割分担できるような体制がとれると良いのでは。
- ・先生が休みを取りやすい雰囲気作りを。
- ・会議が増えないように工夫を。

<来年度の学校運営についての提案>

- ・全委員承認

- ・業務カイゼンについてはご意見を参考にし、取り組みを行う。

- ・承認いただいた案をもとに進める。